

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ねぶた祭り	青森県は全国一のリンゴ生産量を誇る農業の特徴があり、そこで行われる「ねぶた祭り」は巨大な武者人形などの灯籠を引くことで世界的に知られています。秋田県の「竿燈祭り」や宮城県の「仙台七夕祭り」などと並び、東北を代表する夏祭りの一つです。
問2	答え 2 津軽海峡	青森県と北海道の間に位置し、日本海側と太平洋側の海域を繋ぐ役割を果たしています。北海道と本州を隔てる境界であるとともに、その地下には両地域を鉄道で結ぶ青函トンネルが建設されており、日本の交通網における重要な拠点となっています。
問3	答え 4 江戸時代末期に、生活に困窮した武士の副業として奨励されたから	天童における将棋駒作りは、江戸時代末期の天童藩において、財政難で生活が苦しかった武士を救済するために、藩が副業として推奨したことが始まりです。将棋は兵法にも通じることから、武士の職務にもふさわしいと考えられました。これがのちに伝統産業として定着し、現在に至ります。
問4	答え 1 寒さに強い稲の品種改良を行う	やませによる低温（冷害）から稲作を守るため、東北地方では「ひとめぼれ」などに代表される、低温に強く味の良い品種の開発（品種改良）が盛んに行われてきました。また、育苗期に苗を低温から守る工夫なども組み合わせて、気象条件に左右されにくい農業を目指しています。
問5	答え 4 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方から新幹線などで北上する際の起点となる。	福島県は東北6県の中で最も南に位置しています。そのため、政治・経済の中心地である東京を含む関東地方から陸路で東北地方へ向かう際、鉄道（東北新幹線）や道路（東北自動車道）のいずれにおいても最初に通過する県であり、東北の南の玄関口としての役割を担っています。
問6	答え 3 岩手県	東北地方の太平洋側に面した岩手県の沿岸部は、北部に「リアス海岸」として知られる三陸海岸があります。この地域は水深が深く、親潮（寒流）と黒潮（暖流）がぶつかる潮目（潮境）に近いので、世界的な漁場として知られています。隣接する宮城県や青森県と混同されやすいですが、リアス海岸の代表的な地域として岩手県を特定することが重要です。
問7	答え 4 城下町	戦国時代から江戸時代にかけて、領主の居城を中心に計画的に造られた町であり、武家屋敷や町人地が配置された。現在、多くの県庁所在地がかつての城下町に由来している。一方、門前町は寺社の前、港町は港、宿場町は街道沿いに発展した町である。
問8	答え 4 高速道路などの交通網が整備されている仙台市周辺を中心に、自動車関連などの工場が進出している。	宮城県は東北地方の交通の要所であり、高速道路や港湾などのインフラが整っています。そのため、仙台市やその周辺地域には自動車産業や電子機器などの加工組立型工業が集積しており、高い製造品出荷額を維持しています。一方で、人口減少そのものは止まっておらず、東北他県に比べてその「減少率が緩やか」であるという点に注意が必要です。
問9	答え 1 やませによる冷夏の発生	三陸海岸をはじめとする東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹くことがあります。この風が吹くと、本来気温が上がるはずの夏季に気温が低く抑えられる「冷夏」となり、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生する原因となります。
問10	答え 3 米の産出額が果実の産出額を大きく上回っている。	東北地方で人口が最多である宮城県は、広大な平野部を活用した米作りが盛んな地域です。山形県や福島県のように果実の産出額が比較的高い水準にある県とは対照的に、宮城県の農業産出額の内訳では、果実よりも米が占める割合が圧倒的に高いという構造的な違いがあります。
問11	答え 4 やませ	オホーツク海高気圧から発生する冷涼な空気が、寒流である親潮（千島海流）の上を通ることで、冷たく湿った性質を持って東北地方の太平洋側に流れ込みます。この風は夏の気温上昇を妨げるため、農業に大きな影響を与えます。
問12	答え 1 東北地方の南端に位置し、同じ地方の県のほかに、関東地方の3県や中部地方の新潟県とも境を接している。	福島県は、北は宮城・山形、西は新潟、南は茨城・栃木・群馬の各県と隣接しています。このように多くの県と接しているのは、東北地方の南の玄関口として関東地方や中部地方（北陸）と広く境界を接する地理的条件にあるためです。海岸線については、岩手県のような複雑なリアス海岸が少ないため、面積の広さに比して延長は短めになっています。
問13	答え 1 北からの寒流である千島海流と南からの暖流である日本海流がぶつかり、プランクトンが豊富な潮目が形成されるため。	三陸海岸の沖合は、寒流（千島海流）と暖流（日本海流）がぶつかり合う「潮目（潮境）」となっています。潮目では、両方の海流に乗ってきた多種多様な魚が集まるだけでなく、海水がかき混ぜられることでプランクトンが大量に発生するため、絶好の漁場となります。その結果、周辺の漁港では非常に多くの水揚げ量が記録されます。
問14	答え 2 波が穏やかな深い入り江が多いため、古くからカキやワカメなどの養殖業や、天然の良港を利用した漁業が盛んに行われている。	リアス海岸は、山地が沈み込んで形成されたため、水深が深く波が静かな入り江が多く存在します。この地形的利点を活かして、岩手県沿岸部では古くから漁業や養殖業が発展してきました。一方で、平地が少ないために大規模な都市や工場の建設には制約があり、内陸部と沿岸部を結ぶ交通網の整備には北上山地を越える必要があるという地理的背景があります。